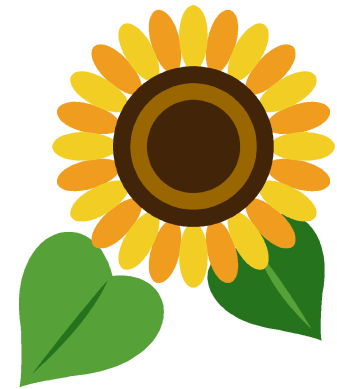


牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報 7月1日号 全国酪農協会
第37回繁殖改善で経営向上「牛群検定活用しよう」渡邊 徹 家畜改良アドバイザー
表情や表現で分かる栄養状態 観察で日々変化する状況把握
- 2 デーリイマン 7月号 デーリイマン社
牛群検定の読み方(その23)
脂肪酸組成の分布状況で採食量をチェック
- 3 LIAJニュース7月号 (一社)家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その90)
赤ペンコメント乳量編①
牛群検定ビッグデータ(その34)
品種における脂肪酸組成の違いについて



赤ペン 体細胞数編① 乳房炎の原因を探求

赤ペンによるコメントが開始されています！検定農家に届けられる毎月の検定成績表一枚一枚に赤や青字でコメントが記載され、農家個々に改善ポイントを知ることが出来るようになりました。当団の繁殖台帳Webシステムにより、パソコン等で利用出来ます。繁殖台帳Webシステムについて、各検定組合にお問い合わせください。別途の費用は不要です。

前回までは、乳量についての赤ペンでしたが、今回は体細胞数(乳房炎)です。まずは検定成績表の1枚目の牛群成績の赤ペンを紹介します。

<ポイント>

赤ペンを見るにあたって最も大事なことは、先ず成績表上部に記載される「今回のポイント」を見ることです。ここで、ご自分の検定成績の体細胞数について大まかなポイントを把握します。裏面の事例では、「体細胞数が高いので、牛床や搾乳、栄養をチェックしましょう」と赤ペンで大きく書かれています。矢印の先を見れば、平均の体細胞数が905千個/mlであり、前月や前々月も高く、この農家の大きな改善ポイントであることがわかります。乳房炎対策としては一般的ですが、先ずは牛床が汚れていないか、不衛生な搾乳を行っていないか、栄養状態が悪くないかといったことを大まかにメッセージで出力しています。

<見 方>

次に上述のポイントの要因等を探ることが大切です。検定成績表にはいろいろなヒントが隠されています。原因となっていると考えられるところに、コメントが出力されているのでひとつひとつ確認してください。例えば、最上段では、暑熱ストレスのチェックを求めています。暑熱は充分に対策しないと飼料を食べなくなり、体力低下から乳房炎の原因となることが、知られています。また、中段の検定日(24.05.28)の搾乳日数(285)日には、「搾乳日数が長いと乳房炎のリスクが高まります。繁殖を見直しましょう」とコメントされています。関連して繁殖を見てみると、分娩間隔は457日と長く繁殖がうまくいっていないことがわかります。このことから、長期間搾乳を続けることになり乳房炎が蔓延する要因となるからです。

赤ペンは個体毎にも表示されます。具体的にどの牛が乳房炎なのか、などは次回に紹介したいと思います。

コメント内容や改善のためのご意見ご質問は
次のURLをお願いします。aihara@liaj.or.jp

赤ペン見本 体細胞数編①

今回の
ポイント

体細胞数が高いので、牛床や搾乳、栄養をチェックしましょう

検定成績表 (牛群成績)

年間集計	乳量	乳価	乳価100kg
乳量	239709	31828	3439
乳価	96	105	102.44
乳価100kg	90	88	26
乳代	23584	113	2.5

検定日	検定乳量	検定乳価	検定乳価100kg
今月	610	105	102.44
前月	601	105	102.44
前々月	625	105	102.44
前々々月	646	105	102.44

項目別	乳量	乳価	乳価100kg
検定乳量	610	105	102.44
検定乳価	96	105	102.44
検定乳価100kg	90	88	26
乳代	23584	113	2.5

暑熱ストレスは乳房炎の原因となります
飲水や送風、栄養やカルシウム等の充足を
チェックしてください

体細胞数編

移動	牛群	乳量	乳価	乳価100kg
23.05.23	32	27.84	297	1
23.06.27	32	25.78	269	2
23.07.25	33	26.77	262	3
23.08.22	34	28.83	225	6
23.09.26	35	30.82	221	3
23.10.23	37	31.87	247	1
23.11.28	36	28.77	220	3
23.12.26	36	29.80	220	2
24.01.24	35	29.84	227	3
24.02.28	35	31.86	241	3
24.03.26	34	27.81	266	10
24.04.23	34	26.80	280	10
24.05.28	34	27.80	285	1
平均・計	32.6	28.6	81.247	27
前年成績	34.7	30.7	83	298

搾乳日数が長いと
乳房炎のリスクが高まります
繁殖を見直しましょう

乳房炎の牛が15頭 (56%) いいます
新規の乳房炎の牛は5頭 (19%) です
新規感染を減らさなければ体細胞数は改善出来ません

乳房炎により出荷乳量を30kg、
月あたり120千円損失しています

検定日	乳量	乳価	乳価100kg
23.05.23	32	27.84	297
23.06.27	32	25.78	269
23.07.25	33	26.77	262
23.08.22	34	28.83	225
23.09.26	35	30.82	221
23.10.23	37	31.87	247
23.11.28	36	28.77	220
23.12.26	36	29.80	220
24.01.24	35	29.84	227
24.02.28	35	31.86	241
24.03.26	34	27.81	266
24.04.23	34	26.80	280
24.05.28	34	27.80	285
平均・計	32.6	28.6	81.247
前年成績	34.7	30.7	83

参考資料(乳価)：ピーエス乳量(%)、DAI：検定データに準じた日数(日)、MID：分産後100日乳量(%)、UP：乳価(円/kg)
体細胞数：280 (f/ml)以上、BC：2.5 (f/ml)以上、T1：1：検定成績表

発行：(一社)家畜改良事業団